

Fellowes

WORK BETTER™

フェローズ ラミネーター

Saturn™ 3i (A4)

Saturn™ 3i (A3)



取扱説明書・保証書

コクヨ株式会社

〒537-8686

大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

TEL 0120-220-594

<https://kokuyo.co.jp>

目 次

目次	1
使用上の注意	2
はじめに	4
本機の特長	4
内容物の確認	5
ラミネートの前に…	6
ラミネート作業上の注意	6
ラミネートフィルムについて	7
各部の名称と働き	8
ご使用方法（ホットラミネート）	9
ご使用方法（コールドラミネート）	12
お手入れの方法	15
こんな時は…	16
製品仕様	18
保証書	19

使用上の注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。



警 告



お子様だけの使用、幼児の手の届くところでの作業はしないでください。
※怪我、感電の恐れがあります。



マシン本体の上面及びラミネート直後のフィルムは、高温になっていますので十分に注意してください。
※高温のためやけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まないようにしてください。怪我をする原因になる恐れがあります。もし引き込まれた時は、ただちにリリースレバーを押して引き抜いてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬ怪我をする恐れがあります。



電源コードを高温の表面に接触させないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。



注 意



このマシンは用紙・印刷物・写真専用のラミネーターです。
ラミネート以外の目的には使用しないでください。



絶対に可燃物（セロファンなど）、軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレンなど）など、
ラミネーター専用のフィルム以外は入れないでください。
※火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。



紙幣・クレジットカード・金属・ビニール製品・布・木片などは、絶対にラミネートしないでください。



本機の上にものを載せたり、腰掛けたり、乗ったりしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。



このマシンは必ず平らなところに設置し、マシンの後ろ側からラミネートしたものを
取り出せるスペースを取ってください。



マシンや電源コード、コンセントなどに水がかからないように十分に注意してくだ
さい。
※火災、感電の恐れがあります。



冷暖房機のそば、水のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないで
ください。
※火災、感電の恐れがあります。



通常の操作以外に本機を清掃したり持ち運んだりする際には、必ず電源スイッチを
オフにし、プラグを抜いてください。
※怪我の原因となる恐れがあります。



電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。



電源コードを棚の上などから下げたままにしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。



電源コードは伸ばして使ってください。束ねたまま使うと加熱の原因になります。



電源は必ず AC100V 電源を使用してください。また、電源プラグは壁のコンセントに直
接つなぎ、延長コード等はご使用にならないでください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



このラミネーターは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用され
た場合、当社は一切責任を負いかねます。

はじめに

このたびはフェローズラミネーター Saturn™3i A4/A3（サターン 3i A4/A3）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

Saturn™3i A4/A3 は、オフィスやご家庭で印刷物や写真を簡単にラミネートすることができます。

ご使用になる前には、必ず取扱説明書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。
また、本取扱説明書は必ず保管してください。

本機の特長

コールドラミネートも可能

熱で圧着する通常のラミネートと異なり、裏面に糊のついた専用のフィルムを使い常温で圧着する方法です。和紙、感熱紙、クレヨン画など熱により変色変質する紙などもラミネートできます。

リリースレバー

リリースレバーを押すと、ラミネートフィルムを取り出すことができます。万一フィルムの挿入に失敗しても、リリースレバーを押すことにより一度挿入したフィルムを取り出すことができます。

ラミネートフィードセンサー

フィルムが詰まったり正常にラミネートできなかったとき、ラミネートフィードセンサーが点滅します。リリースレバーを押してフィルムを取り出してください。

オートシャットオフ

電源をオンにしたまま約 30 分以上使用しないでいると、自動的に節電状態（スリープモード）になります。

ヒートガード™

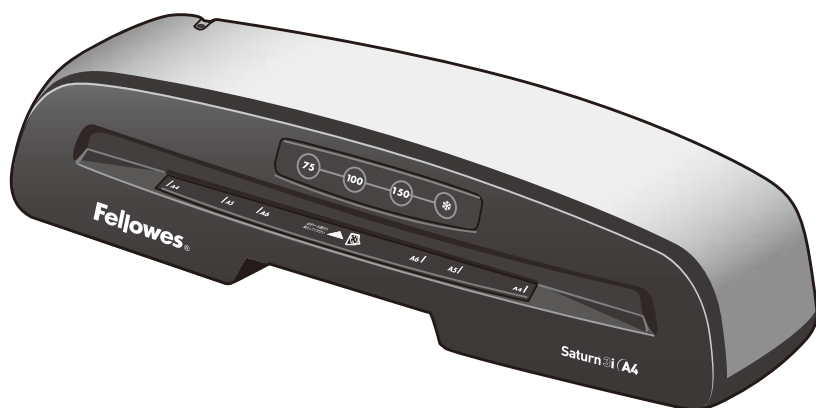
2重断熱層構造で本体の上部にふれたときの熱を低減しました。

※ラミネートした直後のフィルムは熱くなっていますので、充分ご注意ください。

内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品があることをご確認ください。

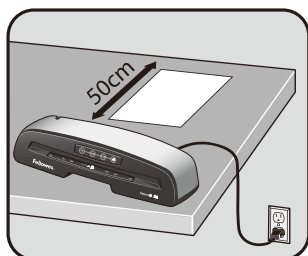
■本体



■取扱説明書（本書）

■スターターキット （クリーニングシート同梱）

ラミネートの前に・・・



このラミネーターは平らな安定した場所で、電源ソケットのプラグの着脱が容易にできる場所に設置してください。

ラミネーターの後部はラミネートされたものを容易に排出できるように十分なスペース(50cm)をとって設置してください。

また、周辺には燃えやすいものを置かないでください。

ラミネート作業上の注意

ラミネーターは操作や使用法の誤りによりラミネートに失敗したり、フィルムを巻き込んで故障する場合があります。以下に書いてある注意事項をよくお読みの上、厳守してご使用ください。

ラミネートしてはいけないもの

● ラミネートしてはいけないもの

(×：ラミネートできません ○：ラミネートできます)

	ホットラミネート	コールドラミネート
金属・ビニール製品・布・木片など紙以外のもの、可燃物（セロハンなど）、軟化しやすいもの（塩ビ・ポリエチレン製品など）	×	×
和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙	×	○

● たった一枚しかないような大切なものをラミネートすることはお避けください。

万一失敗したり内部に詰まったりすると、元どおりに再生することができません。

● 資料や写真をはさまないフィルムだけのラミネートはしないでください。

● フィルムも含めて厚さ0.5mmより厚いものはラミネートできません。

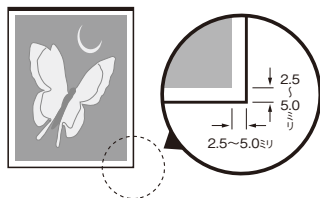
無理にラミネートしようとすると本体の内部機構を傷め、ローラーやヒーターなどが破損する場合があります。厚紙をラミネートするときはあらかじめ厚みを計測してください。

● 本機は厚さ 75 ～ 150 ミクロンのラミネートフィルムに適應しています。

それ以外の厚さのフィルムではきれいにラミネートできません。また、故障の原因にもなります。

ラミネートフィルムについて

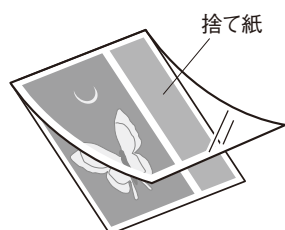
なるべくフェローズのラミネートフィルムをお使いください。フィルムの特性が合わないフィルムにシワがでたり、仕上がりが良くない場合があります。



ラミネートするものより周囲が 2.5 ～ 5.0mm ほど大きなフィルムを使用してください。

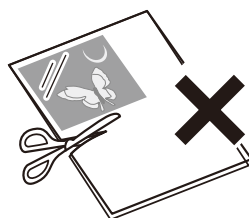
この幅が小さいと周囲がうまく接着されず、その部分からはがれる原因になります。

また、大きすぎると巻き込みの原因になります。



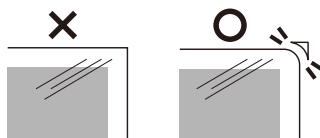
最適なフィルムがない場合は、大きめのフィルムを使用して、空白部分に捨て紙を入れてラミネートしてください。

ラミネートした後、ラミネートしたもののサイズに合わせてカットしてください。



ラミネートする前にフィルムをカットしたり、変形させたり継ぎ足したりしてお使いにならないください。

内部のローラーに巻き付いたり内部で詰まって故障の原因になります。



ラミネートした後にフィルムをカットされた場合は、コーナーを丸めてください。

とがった角で怪我をする恐れがあります。

各部の名称と働き

リリースレバー（背面）

フィルムの挿入に失敗したり、詰まってしまったときなどに、このレバーを押してフィルムを取り出すことができます。

ラミネートフィードセンサー

フィルムが詰まったり正常にラミネートできなかったとき点滅します。

ラミネート取り出し口（背面）

ラミネートされたフィルムがここから出てきます。

電源スイッチ（背面）

電源のオン／オフの操作を行います。

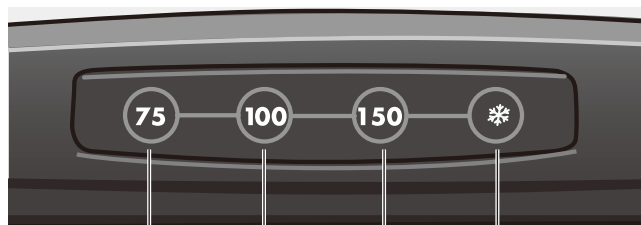
ラミネートフィルム挿入口

ラミネートフィルムをここから挿入します。

ガイドトレイ

ラミネートフィルムを挿入する時のガイドです。

〈LEDコントロールパネル〉



ラミネートフィルム選択ボタン (75・100・150 ミクロン、* (コールド))

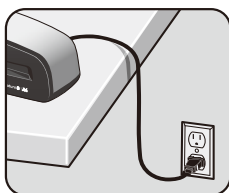
ラミネートフィルムの厚さを選択します。
(選択後、選択されたフィルムのボタンが点滅をはじめます。)

▲ 注意

- ・ ホット／コールド、両方のラミネート作業を行う場合は、先にコールドラミネートを行い、その後でホットラミネートを行ってください。
- ・ ホットラミネートの後、コールドラミネートを行う場合は電源スイッチを切った後、ラミネーターの熱を完全に冷ましてからにしてください。

ご使用方法（ホットラミネート）

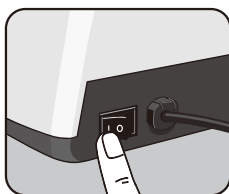
1



電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源スイッチが○の位置にあることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

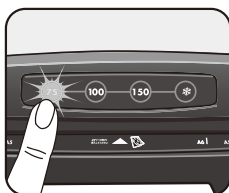
2



電源を入れます。

電源スイッチの I 側を押します。

3

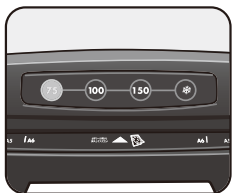


フィルムの厚さを選びます。

ラミネートフィルム選択ボタン（75・100・150 ミクロン）を押して、使用するフィルムの厚さを選びます。

選択したフィルムの厚さの LED ランプが点滅します。

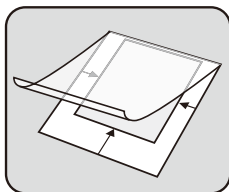
4



ラミネーターがウォームアップを開始します。

ラミネート可能になると選択したフィルムの厚さの LED ランプが点灯に変わり、ブザーでお知らせします。

5



ラミネートするものをラミネートフィルムのシール部（接合部）の奥まできちんと入れて挟みます。

**▲
注意**

- ・ 接合部に余白があると、巻き込みなどの原因になりますので、奥まできちんと入れてください。

6



シールされた側から挿入口に平行に静かに差し込みます。

**▲
注意**

- ・ ななめに入れるとフィルムがしわになったり、途中で詰まって故障の原因になります。
- ・ フィルムのシール部（接合部）以外のところから挿入するとフィルムがめくれて内部で詰まったり、ローラーに巻きついて故障の原因になります。



ラミネートフィードセンサーが点滅したときなど、ラミネートを途中で中断する場合は、リリースレバーを押します。ローラーがフリーになって一度挿入したフィルムを引き抜くことができます。

7

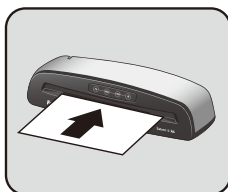


ラミネートが終了したフィルムを後部取り出し口より取り出し、平らな場所に置き冷まします。

⚠ 注意

- ・途中で後ろから引っ張ったりしないでください。
- ・続けてラミネートするときは、必ず前にラミネートしたものを取り出した後、次のラミネートフィルムを入れてください。
- ・フィルムが熱くなっていますので、十分ご注意ください。

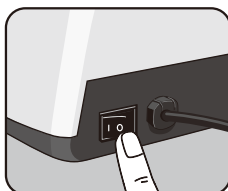
8



ローラーのクリーニングをします。

ラミネート作業が終了したら付属のクリーニングシートが同程度の厚さの紙を数回空通ししてローラーのクリーニングをします。(→ 15 ページ)

9



使用後は必ず背面の電源スイッチをオフにしてください。

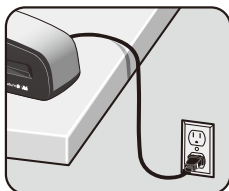
オートシャットオフ

電源をオンにしたまま 30 分以上使用しないでいると、LED コントロールパネルのランプがかすかに点滅しスリープモードになります。

再び使用するには、いずれかのラミネートフィルム選択ボタンを押すか、電源を入れなおしてください。

ご使用方法（コールドラミネート）

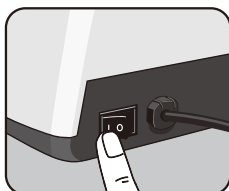
1



電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源スイッチが○の位置にあることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2



電源を入れます。

電源スイッチのI側を押します。

3

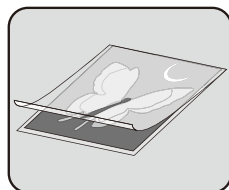


ラミネートフィルム選択ボタンの※（コールド）を押します。

ラミネート可能になると※（コールド）のLEDランプが点灯し、ブザーでお知らせします。

メモ ホットラミネートの直後は、※（コールド）のLEDランプが点滅し、適切な内部温度になるまで点滅し続けます。

4

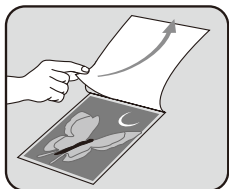


ラミネートするものをラミネートフィルムのシール部（接合部）の奥まできちんと入れて挟みます。

注意

- ・接合部に余白があると、巻き込みなどの原因になりますので、奥まできちんと入れてください。
- ・必ずコールドラミネート専用のフィルムをお使いください。

5



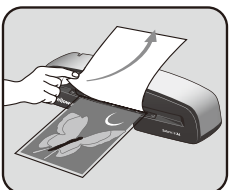
フィルムのシール部側から合紙をそっとはがしながら挿入口に差し込みます。

⚠ 注意

- ・ ななめに入れるとフィルムがしわになったり、途中で詰まって故障の原因になります。
- ・ フィルムのシール部（接合部）以外のところから挿入するとフィルムがめくれて内部で詰まったり、ローラーに巻きついて故障の原因になります。

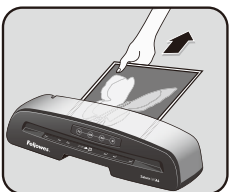
メモ ラミネートフィードセンサーが点滅したときなど、ラミネートを途中で中断する場合は、リリースレバーを押します。ローラーがフリーになって一度挿入したフィルムを引き抜くことができます。

6



合紙はラミネート作業中に手で支えていると自然にはがれていきます。

7

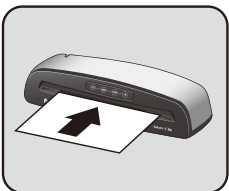


ラミネートが終了したフィルムを後部取り出し口より取り出します。

⚠ 注意

- ・ 途中で後ろから引っ張ったりしないでください。
- ・ 続けてラミネートするときは、必ず前にラミネートしたものを取り出した後、次のラミネートフィルムを入れてください。

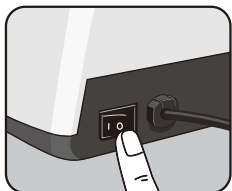
8



ローラーのクリーニングをします。

ラミネート作業が終了したら付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてローラーのクリーニングをします。（→ 15 ページ）

9



使用後は必ず背面の電源スイッチをオフにしてください。

オートシャットオフ

電源をオンにしたまま 30 分以上使用しないでいると、LED コントロールパネルのランプがかすかに点滅しスリープモードになります。

再び使用するには、いずれかのラミネートフィルム選択ボタンを押すか、電源を入れなおしてください。

お手入れの方法

本体のお手入れ

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭いてください。本体のお手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠ 注意

● シンナー、ベンジン、クレンザーなどは変形や傷の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

ローラーのお手入れ

ラミネーターは1枚ラミネートするごとに、フィルムの接着剤が内部のローラーに少量づつ付着して汚れてきます。毎回ラミネート作業終了後、電源を切る前に、ローラーのクリーニングをしてください。



付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてください。ローラーの汚れが紙に吸着されてクリーニングされます。

ラミネート作業を開始する前にも、このクリーニングを行うと、より効果的です。

こんな時は・・・

現象	原因	対処法
電源が入らない 動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。
	電源スイッチを押しましたか？	電源スイッチは、本機の背面にあります。電源スイッチのI側を押してこのラミネーターを起動させてください。
	オートシャットオフが働いていませんか？（このときLEDコントロールパネルのランプがかすかに点滅しています。）	電源をオンにしたまま30分以上使用しないでいると、スリープモードとなります。 このときはいずれかのラミネートフィルム選択ボタンを押すか、電源を入れなおしてください。
（ホットラミネートご使用時） 仕上がりが白っぽく曇っている	ラミネートの設定が低いようです。	ラミネートフィルム選択ボタンを押して一段階上のフィルムの厚さに設定して試してください。
（ホットラミネートご使用時） 仕上がりが波をうっていたり、気泡が出ている	ラミネートの設定が高いようです。	ラミネートフィルム選択ボタンを押して一段階下のフィルムの厚さに設定して試してください。
仕上がったフィルムが反る	ラミネートした直後のフィルムは柔らかくなっているので反ることがあります。	ラミネートが終了したフィルムを後部取り出し口より取り出し、平らな場所に置いて冷ましてください。
ラミネートフィルムの表面が汚れる	ローラーが汚れています。	付属のクリーニングシートが同程度の厚さの紙を使ってクリーニングしてください。

現象	原因	対処法
ラミネートフィルム がはがれる	ラミネートする紙が厚すぎ ます。	フィルムも含めて厚さが0.5mm より厚いものはラミネートできま せん。
	フィルムの大きさが合っ ていますか？	ラミネートするものより周囲が 2.5～5.0mmほど大きなフィル ムを使用してください。 (→7ページ)
	紙以外の材質のものをラ ミネートしていませんか？	本機は紙専用のラミネーターで す。プラスチック・金属・ビニール ・布等はラミネートできません。
	特殊な紙をラミネートして いませんか？	紙にコーティング処理または油 分が含まれている特殊紙はラミ ネートできません。
ラミネートフィード センサーが点滅し、 ラミネートフィルム が取り出し口から 出てこない	フィルムがラミネーターの 中に詰まっています。	ただちに、リリースレバーを押 して取り出してください。ローラ ーがフリーになって一度挿入した フィルムを引き抜くことができま す。

これらの対処をしても問題が解決しないときは、電源スイッチをオフにして電源プラグをコンセントから抜いた上で、コクヨ株式会社 フェロース製品カスタマー窓口 <https://kokuyo.jp/fellowes-support/> までご連絡ください。

製品仕様

品名	Saturn TM 3i A4	Saturn TM 3i A3
品番	5735301	5736301
外寸法	W440×D140×H105mm	W535×D150×H105mm
質量	2.0kg	2.5kg
挿入幅	240mm	320mm
消費電力	750W	
電流	7.5A	
電源	AC100V 50/60Hz	
ウォームアップ時間	約60秒	
冷却時間	60～90分	
ラミネート方式	ホットラミネート／コールドラミネート	
加熱方式	外部加熱方式	
温度設定	ホット3段階＋コールド	
ローラー本数	2本	
最大ラミネート厚	0.5mm	
適用フィルム厚	75～150ミクロン	
ラミネート速度	300mm/分	
対応最厚加工紙	170g/m ²	
対応最薄加工紙	64g/m ²	
オートシャットオフ	約30分無運転時	
フィルム詰り対策	リリースレバー	
保証期間	1年間	